

トークカフェ atPLUS+アンカー サイエンスカフェ in 桐生②

講 座 概 要

大学で行われている科学技術に関する教育や研究は、現代社会の基盤を支えているにもかかわらず、一般に難解で近寄りがたいと思われがちです。また、桐生などの地域の動向は、身近に感じられるわりに理解されていないことが多いようです。

本公開講座は、リラックスした雰囲気の中でお茶を飲みながら、サイエンスとアートの興味ある話を、気軽に聴いていただくのが目的です。内容は、中高生以上ならば誰でも理解できるように、わかり易くお話しいたします。

本公開講座は、トークカフェ at Plus+アンカーと名付けられた桐生市内の Plus+アンカーというカフェで開催される講演会のシリーズであり、群馬大学公開講座として実施するものです。理工学府の二人の教授（松原雅昭、大澤研二）が司会を行い、毎月の第2土曜日の午後3時から、Plus+アンカー（桐生市本町六丁目382, <http://anchor-plus.com>）を会場として定期的に実施します。偶数月はサイエンスカフェ、奇数月はアートカフェとなります。

※会場にてトークカフェの参加費（ドリンク代を含む）を Plus+アンカーにお支払いください。

実施責任者：理工学府教授 大澤 研二
理工学府教授 松原 雅昭

会 場

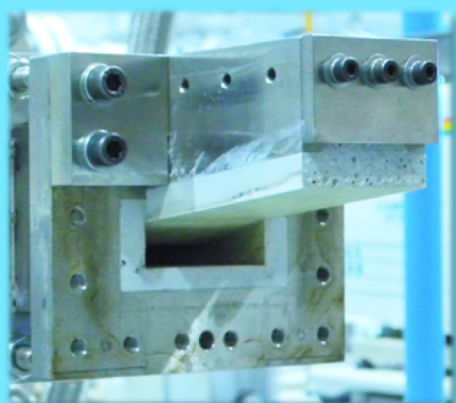
PLUS+アンカー （桐生市本町六丁目382）

※事前申込み後、当日は会場までお越しください。

（当日席に余裕のある場合は、申込み無しでも参加いただけます。）

□講義日程

日 程			講 義 内 容	講 師
第3日	6月8日 (土)	15:00 ～ 16:30	【手をたたくと音がする。鳴ったのは右手か？左手か？～流体騒音のはなし】 手を叩くと音がします。鳴ったのは右手か？左手か？古くは禅問答に同じ問いがあるといいます。もちろんここでは流体音響学の話です。自分の「鼻息」（「いびき」ではありません）の音で目が覚める人はいないのに、空港近隣住民は旅客機の「ジェット騒音」に悩まされます。鼻穴（ノズル）から空気（燃焼ガス）を噴き出すという点で、全く同じ現象なの입니다。本講演では、身近なものから航空機騒音まで、「音」にまつわる話をいたします。	理工学府 准教授 荒木 幹也



手を叩くと音がします。鳴ったのは右手か？左手か？
古くは禅問答に同じ問いがあるといえます。もちろん
ここでは流体音響学の話です。自分の「鼻息」（「い
びき」ではありません）の音で目が覚める人はいない
のに、空港近隣住民は旅客機の「ジェット騒音」に悩
まされます。鼻穴（ノズル）から空気（燃焼ガス）を
噴き出すという点で、全く同じ現象なの입니다。本講
演では、身近なものから航空機騒音まで、「音」にま
つわる話をいたします。

講師： 荒木 幹也
群馬大学大学院理工学府 准教授

群馬大学公開講座 サイエンスカフェ in 桐生②

「手をたたくと 音がする。鳴っ たのは右手か？ 左手か？」

～流体騒音のはなし～

2019年 6月8日(土)

午後3時～4時30分(受付 午後2時30分～)

参加費1,000円(飲み物代含む)

会場:PLUS+ アンカー

〒376-0031 群馬県桐生市本町6丁目382 電話:080-1152-0083

QRコードからも申し込みます



主催=PLUS+ アンカー 共催=群馬大学理工学部